

平成16年度

自：平成16年4月 1日

至：平成17年3月31日

事業計画書

平成16年3月17日

財団法人 理工学振興会

1. 概要

本会は、「理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、学術および技術開発の進展に寄与する」ことを目的に、

- ①研究助成：若手研究者及び高校・高専教員を対象とした研究費の助成
- ②大学技術移転：大学特許の発掘、権利化および普及（所謂TLO）並びに産学連携
- ③共同研究開発：東京工業大学および民間企業との共同研究

の3事業を行っている。

平成16年度は、東京工業大学の国立大学法人化に伴い、②の大学技術移転事業のうち「大学特許の発掘、権利化および普及」事業が大学直轄になる。本会は、これら業務を大学の委託を受けて支援していくと共に、大学との密接な連携の下、産学連携事業を引き続き推進する。

昨年度と同様、①研究助成部門、②大学技術移転部門、③共同研究開発部門および④事務局の体制とし、その要員計画は、次の通りである。

（内数：非常勤）

	平成15年度末見込み		平成16年度計画（案）		増 減	
	役員・部門長	担当職	役員・部門長	担当職	役員・部門長	担当職
研究助成	（兼）	（兼）	（兼）	（兼）	0	0
大学技術移転	1	20（13）	1	18（13）	0	-2（0）
共同研究開発	（兼）	10	（兼）	4（注）	0	-6
事務局	1	6	1	6	0	0
合計	2	36（13）	2	28（13）	0	-8（0）

（注）共同研究開発案件：平成15年度：18件→平成16年度：5件（継続分）

2. 研究助成部門

研究助成および教育研究助成の2分野で研究費の助成を行う。助成件数は、昨年度並とする。

（1）研究助成分野

全国の理工系大学の大学院生等若手研究者を対象として、優れた研究を行っている者を奨励援助する。

助成件数：20件程度 助成金額：1件につき30万円

（2）教育研究助成

全国の高等学校および高等工業専門学校教員を対象として、教育現場に置いて優れた教育研究を行っている者を奨励援助する。

助成件数：10件程度 助成金額：1件につき20万円

3. 大学技術移転部門

大学特許の権利化、普及（所謂TLO）および産学官連携の推進のために、以下の分野で事業を行う。平成16年度は、出願済み特許の権利化・ライセンス並びに技術相談・技術指導の斡旋に特に注力する。

また、大学からの委託を受けて大学特許のライセンス活動および出願特許の管理業務を受託する。

(1) 特許の権利化、普及

①平成13年10月～平成14年6月の間に申請した特許の審査請求を行う。

(年間：100件程度)

②出願済み特許およびノウハウのライセンス活動を行う。

(年間目標：10件) (15年度見込み：30件)

③大学の委託を受けて、大学の特許出願特許情報の提供等を通して企業に特許およびノウハウのライセンス活動を行う。(年間目標：20件)

また、出願特許の管理業務を受託する。(年間：150件程度)

(2) 技術相談・技術指導の斡旋

①企業の抱える技術的課題に大学が応えるために、技術相談(1回限り)および技術指導(一定期間)を推進する。(年間目標：150件) (15年度見込み：120件)

(3) 東工大TLOセミナー等の開催

①先端技術に関する大学の研究成果を紹介する「東工大TLOセミナー」を開催する。(年間：10回程度)

②大学主催の技術講演会、シンポジウム等に協力する。

(4) 研究および調査の受託

①NEDO「産業技術フェロシップ事業」および関東経済産業局「即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業」を受託する。

②その他の理工学に関する委託研究および調査を各種機関から受託する。

(5) 大学発ベンチャー支援

①文部科学省「大学発ベンチャー創出支援事業」の「マネジメント業務」を東京工業大学仲教授から受託し、ベンチャー設立業務を支援する。

②発明協会「大学発ベンチャー経営等支援事業」をとおして、ベンチャー設立および経営支援を行う。

(6) 各種団体等との連携

- ①大田区等大学キャンパス周辺の技術力ある中小企業と大学との連携を強め「先端技術とものづくり技術」との融合を図るために、各種研究会を組織する。
- ②発明協会、横浜市、川崎市および町田市等が主催する技術フェアおよびセミナー等に出展し、また講師を派遣する。
- ③中小企業の中国の大学・企業との交流を支援するために、上海交通大学TLOと連携して日中交流会を開催する。

4. 共同研究開発部門

(1) NEDO「大学発事業創出実用化研究開発事業」を受託する。(継続分：5件)

- ①ポリマーコンポジットコンデンサ内蔵多層基板の開発
- ②4足歩行型法面作業ロボットの開発
- ③大規模クラスター用セットアップ・管理ツールの実用化
- ④3D-CADを用いた屋外熱環境の実設計対応型・予測評価ツールの研究開発
- ⑤精密固相合成法を基盤とする天然物の母骨格含有高機能性化合物ライブラリー構築法の開発

(2) NEDO「大学発事業創出実用化研究開発事業」新規公募に応募する。

以上